

伝統を受け継いで

長崎ラグビースクール

校長 本多 守

日頃から、楕円形のボールを追いかけている子供たちも、年度がわりの節目を迎えました。
新しい仲間とともに手を携えて、お互いが頑張ろうと決意を新たにしていることと思います。

さて、長崎ラグビースクールの創設について触れますが、昭和44年第24回国民体育大会が本県で開催されました。選手団は良く頑張り、輝く天皇杯・皇后杯を獲得しています。

後進県だと言われたラグビー競技でも、一般 [3位] ・教員 [準優勝] ・高校 [優勝] の3種別とも入賞してラグビー競技の総合優勝を成しとげました。

国体終了後の反省会で、国体での成績を一過性のもので終わらせてはならないという意図から、今後のラグビー競技の普及・強化を図るためには、ジュニア層の育成が急務だという県ラグビー協会の後押しで誕生したのが、本スクールです。草創期のころは大変な苦勞も多かったそうですが、先人たちのご努力により今日に至っています。

専用のグラウンドを持たない本スクールですが、県ラグビー協会をはじめ関係者のご理解・ご協力に加え、指導者・保護者が一緒になって取り組んだ結果が今日の活動につながっております。特に、ラグビー好きとはいえ、仕事を犠牲にしても子供たちのためにボランティアで指導してくれるスタッフの存在が大きく係わっていると思います。

本スクールの卒業生は各地で活躍しています。特筆すべきは、ラグビーワールドカップに全日本チームの一員として2回連続して出場した平浩二も(長崎RS/1997年卒・長崎南山高・同志社大・サントリー)本スクール出身選手です。他にも多くの先輩がトップリーグで活躍しています。チーム成績としては、九州中学生大会優勝4回・太陽生命カップ全国中学ラグビー大会に4年連続出場、その間優勝1回・3位2回。全国ヒーローズ決勝大会2回出場、うち1回は全国優勝する等の結果を残しています。

本スクールでは1975年(昭和50年)に第1回の卒業生を輩出してから現在まで、544名が巣立っています。

本年(2017年)の体制は、小学生(幼児含む)68名・中学生49名・指導者58名の構成です。練習は、原則として週1回、週末の午前中に実施、場所は松山ラグビーサッカー場・かきどまり運動公園・松山陸上競技場・長崎北高グラウンド・長崎南山高校三川総合グラウンド等をジブプシーで探し求め使用させてもらっています。

今日までに構築された深い絆を礎として、更なる前進を目指して頑張り、子供達が持っている『夢』実現のために寄与する所存であります。多くの仲間の入校をお待ちしています。

一緒に楕円形のボールを追いつけましょう。今後とも、今まで以上の御指導と御協力をお願い申し上げます。